



見方・考え方を働かせ、
コミュニケーションの
質を高める授業づくりと
評価の具体

—英語を勉強するのはなんのため?—

令和7年度

見方・考え方を
働かせる授業づくりに
取り組んで...

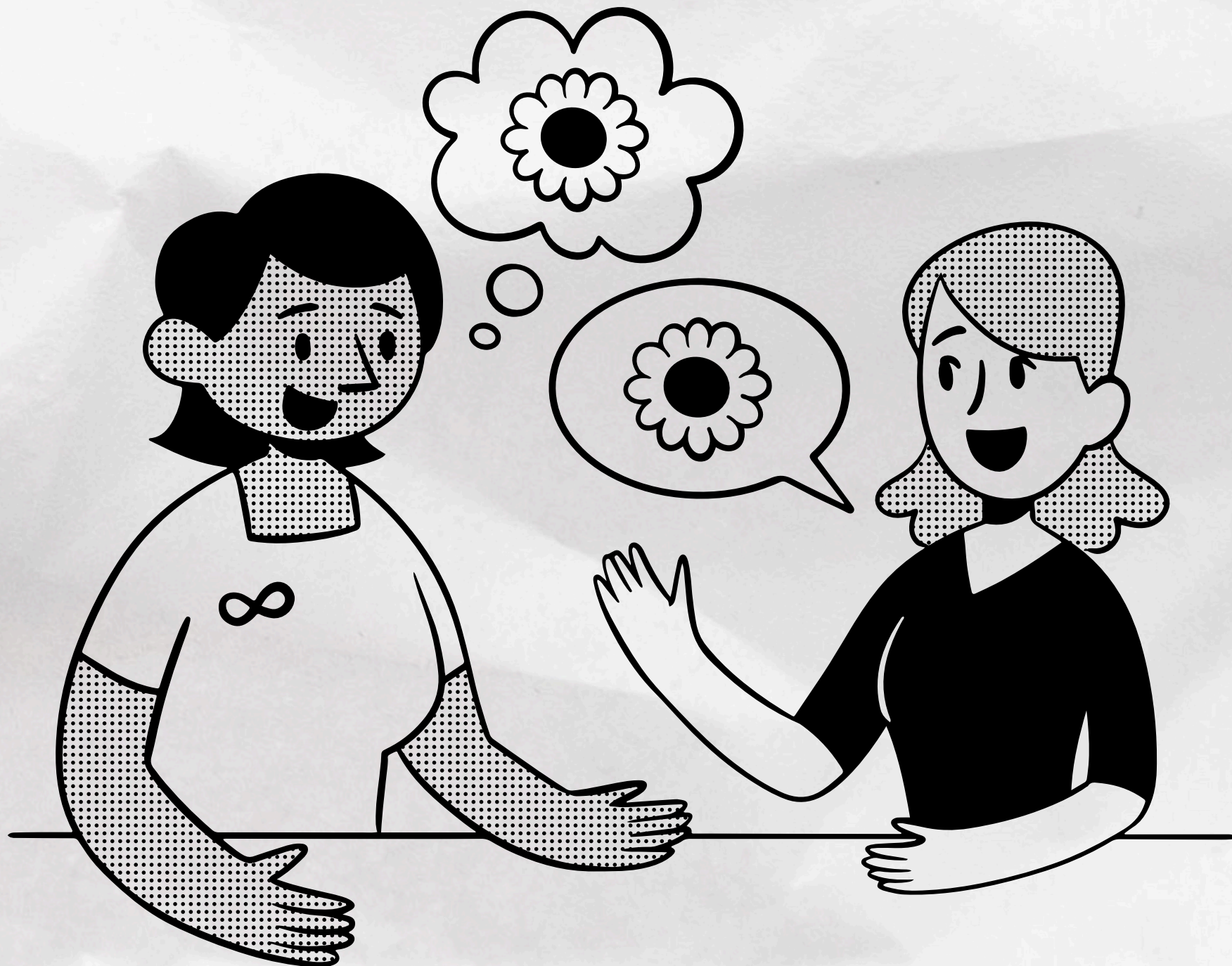


たどり着いた結論

→英語の授業で教えるのは
「英語」ではない?!



英語を学ぶのはなんのため？



入試に必要？

授業であるから？

知らない....

見方・考え方を働かせる
授業づくりを進めると
子どもたちの
英語に対する気持ちが変わる



英語を学ぶのはなんのため？

英語という言葉を使って、
互いを理解し、
人とつながり、
新しい自分に出会い、
新しい世界に飛び込んでいく
楽しさを知るため



思考する授業って？

英語を使うってどういうこと？

見方・考え方が働くとどうなる？



見方・考え方が働く ＝コミュニケーションが成立している状態

コミュニケーションの目的
を踏まえ、
自分の考えを
形成する

伝えたいことが
伝わり、相手の
考えを理解して
いる状態

目的・場面・
状況を踏まえ
た適切な表現
を選択すること
ができる

相手や状況に応じ
て表現を選び、
伝わりやすいよう
に工夫している
状態

コミュニケーションを通し
て、互いの
well-beingに
つながる

コミュニケーション
により、相互理解が
深まっている状態



“英語” が生きたコミュニケーションの道具となる

英語を通して、人と人がつながり、課題解決につながっていく

ふだんから授業で大切にしていること



- ①英語を“言葉”として扱うこと
- ②言語活動のゴールや目的を生徒と共有すること
- ③練習活動と言語活動を行き来すること
- ④子どもたちの好奇心をくすぐる工夫をすること
- ⑤学び方を生徒に獲得させること

そこに「見方・考え方を働かせる」という視点が加わることで…

英語科の見方・考え方

見方



相手との関係性
誰と伝え合っているか

見方



状況や場面
いつ・どこで・どんな場面か

見方



目的
何のために伝えるのか

見方



言語の動き・特徴
どんな語・表現・形が使えそうか
語順・文の形・音など

見方



文化的背景
習慣・価値観・考え方の違い
その国・地域ではどう考えられている？

考え方



選ぶ
相手や目的に合う
語や表現を選ぶ

考え方



組み立てる
順序・理由・つながりを
考える

考え方



調整・再構築する
伝わった実感はある？
目的に近づいている？
言い直してみる？

考え方



関係をつくる
質問・あいづち・やり取り
で相手との距離を縮める

見方・考え方カードを使って
見方・考え方を可視化したら
子どもたちが視点（見方カード）をもって
コミュニケーションを調整（考え方カード）できるようになる！



見方・考えカードの誕生！

見方カードについて

見方=レンズ：コミュニケーションの着目点はどこか？



伝える相手

状況・場面

コミュニケーション
の目的

表現の選択

文化の違い

見方・考えカードの誕生！

補助カード
特に意識させたい
ときに使う

考え方カードについて

考え方=コントローラー：コミュニケーション成立のためにどう行動するか



 **考え方**



選ぶ
相手や目的に合う
語や表現を選ぶ

表現を選ぶ
内容を選ぶ

 **考え方**



組み立てる
順序・理由・つながりを
考える

順番や理由
を工夫する

 **考え方**



調整・再構築する
伝わった実感はある？
目的に近づいている？
言い直してみる？

相手の反応に応じて、
または反応を予測して
内容を再調整する

 **考え方**



関係をつくる
質問・あいづち・やり取り
で相手との距離を縮める

相手と関係を築く
伝え方を考える

見方・考えカードの誕生！

①カードを共有

②最初は選択制

※自分で選んでみる事が大切

③少しずつ解説

※その状況に合うカードを示す

④こちらの意図を踏まえて提示

振り返りで意識したカードに

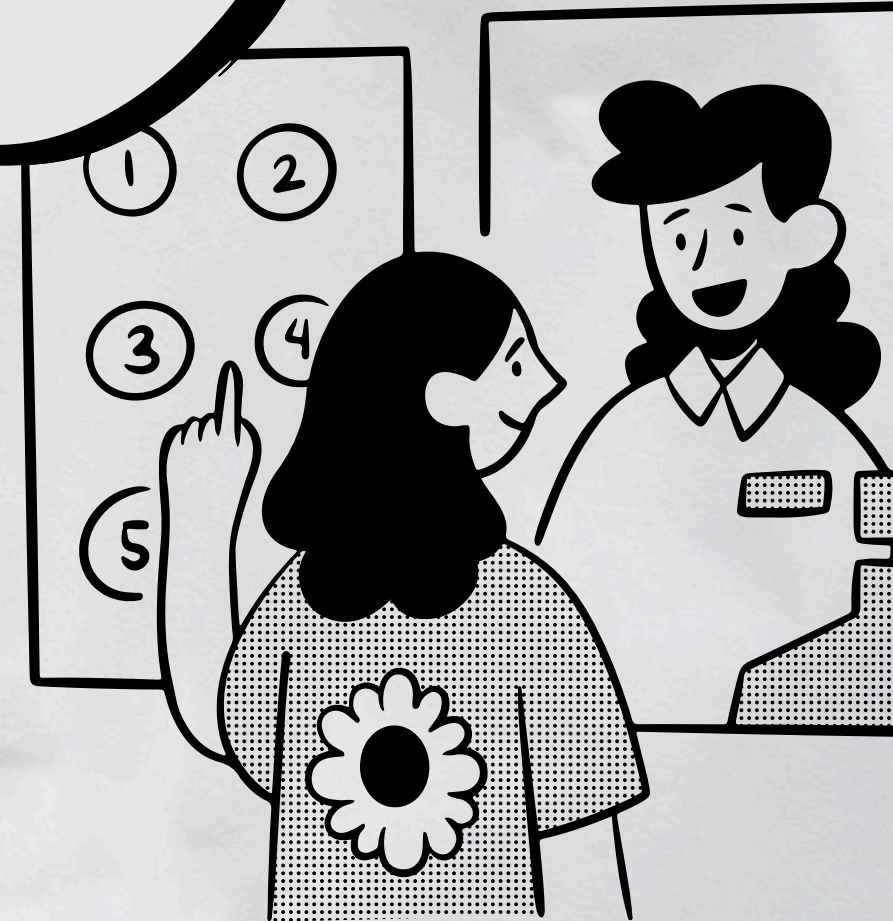
○をして、具体を書く

⑤活動のたびに、カードを示してツツコミを入れる

「それって伝わってる？」

「もっといい言い方ない？」

とにかくいつも
意識できるように
提示したり、選ばせたり、
どんどん使っていく。



見方・考え方を働かせる 授業づくりを進めると 評価が変わる



変化したパフォーマンス評価の視点

- 🎯 適切な表現を選択できたか？
- 🎯 相手意識をもって目標達成できたか？
- 🎯 調整・再構築できたか？

コミュニケーションの目的を達成するために、
思考することができたか？

→生徒の**思考の足跡**を評価する

英語で人と
つながろうとしている
かどうかを評価する。



評価の例（先生紹介）



| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|--|
| A | 目的・場面・状況、相手との関係に着目し、「言語の働き・特徴」「文化的背景」の視点から、学習した語句・表現・文の形を選び、相手に伝わるように使っている。 | 相手の反応を踏まえ、「調整・再構築する」の視点を用いて、「伝わったか」「目的に近づいているか」を判断し、内容や表現を調整・再構築して伝えている。 | 相手に関心をもち、質問・相づち・提案などで関係を築こうとしている。 |
| B | 教科書や既習表現を用いて、目的に沿った表現を使っておおむね正しく伝えているが、一部に不正確さが見られる。 | 相手や目的を意識して、順序や理由を工夫して伝えている。 | 相手と関わろうとし、目的達成に向けて工夫して伝えようとしている。 |
| C | 学習した語句や表現の使用が不十分、または誤りが多くコミュニケーションに支障がある。 | 自分の伝えたいことを中心に話しており、相手意識や調整が十分ではない。 | 関係づくりは受け身で、相互の交流が薄い。 相手との関係性を近づける工夫が伝わりにくい。 |

評価の例 (例)



| | 知識 | 思考・判断 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| A | 目的・場面・状況、相手との関係に着目し、「言語の働き・特徴」「文化的背景」の視点から、学習した語句・表現・文の形を選び、相手に伝わるように使っている。 | 相手の反応を踏まえ、「相手に伝わる」の視点を用い、「伝わったか」「目的に近づいているか」を判断し、内容や表現を調整・再構築して伝えている。 | 相手に関心をもち、質問・相づち・提案などで関係を築こうとしている。 |
| B | 教科書や既習表現を用いて、目的に沿った表現を使っておおむね正しく伝えているが、一部に不正確さが見られる。 | 相手や目的を意識して、順序や理由を工夫して伝えている。 | コミュニケーションを成立させようとしているかどうかを評価する。相互理解が深まっているか？相手との関係性に着目する。 |
| C | 学習した語句や表現の使用が不十分、または誤りが多くコミュニケーションに支障がある。 | 自分の伝えたいことを中心に話しており、相手意識や調整が十分ではない。 | 関係づくりは受け身で、相互の交流が薄い。相手との関係性を近づける工夫が伝わりにくい。 |

カードの視点を入れて生徒の表現の適切さ、正確さを評価する。

相手に伝わり、目的を達成させることがゴールであることを意識させる。

コミュニケーションを成立させようとしているかどうかを評価する。相互理解が深まっているか？相手との関係性に着目する。

これまでの評価との違い

| | これまでの評価 | 見方・考え方を働かせているかどうかを大切にした評価 |
|----------|-------------------------|--|
| 知識・技能 | 正しく言えているか | 目的や相手に応じて、表現を選んで使えているか |
| 思考・判断・表現 | 目的・場面・状況に応じて適切に伝えているか | 目的を達成、伝わるように、相手意識をもって調整しているか |
| 評価の焦点 | 結果重視 | 思考のプロセス重視 |
| 生徒の姿 | 話し切る、書き切ることがゴールとなることが多い | 相手との関係性を踏まえて、言い直したり、情報を削ったり、増やしたり調整をしている |



振り返りでの活用例

①今日の活動で意識したものを選んで、○で囲む。なぜそれを○したか理由や具体的なことを書きましょう。



「この場面で『どういう単語を使えば』
伝わりやすいか
考えて言えた。」

相手の事を矢張りよく

「引き出す力」を
意識して
相手との共通点を探す
質問をする

「状況や場面」という
視点で伝わりやすさを
追求する

振り返りでの活用例

①今日の活動で意識したものを選んで、○で囲む。なぜそれを○したか理由や具体的なことを書きましょう。



相手のことを知って 聞いたことから相手に合う先生を選んでしようかいい

「相手との関係性」
「目的を意識」という
視点でまずは相手に
関心をもつ

「引き出す力」
「再構築」を意識して
相手に合う先生を選んで
紹介する

見方・考え方を働かせると

言語活動がこれまで以上に



1. 自分ごとになる
2. 意味のあるものになる
3. 思考を伴うものになる
4. ほんもののコミュニケーションに近づく
5. 関係性を築く手段となる

授業が変わる！

見方・考え方を働かせると

英語が**これまで以上に**



1. 人とつながるツールになる
2. 言葉として身に付く
3. 新しい自分に出会うきっかけをつくる
4. 自信を付けてくれる
5. 夢を広げるものになる

授業が変わる！

あなたにとって英語とは

★あなたにとって英語とは

日本語以外に楽しくコミュニケーションが取れる言葉だと思います！理由は、全然知らない先生でも楽しく話せることができたからです。

人とのつながり。外国の人が困っているとき、世界共通語の英語なら大体伝わるからです。

私にとって英語は人とつながれること！世界にはいろいろな人がいるから、英語がわからなかったら、しゃべれないし、友達にもなれないし、英語は将来どこでも使えると思うからです。

自分にとって英語とは自分の将来のためのものだと思います。自分が大人になると外国人が会社にとっても多くいると思うので、コミュニケーションを取れるようにしたいからです。

将来役に立つ。外国に行けたり、コミュニケーションが取れる。

人生にかかわってくることです。

苦手だが楽しい。苦手なんだけど、文が書けた時の楽しさがいっぱいだから。

一種のコミュカ。新しいから、自分にとって。

外国の人とつながったり、人とコミュニケーションをとるための言語。

世界をつなげてくれる架け橋。世界共通語として世界をつなげて、自分も英語を学んで、世界が広がり、勉強してよかったなと思います。

人生。この先、英語を使うようになるから。今のうちに理解したい。

大切な存在。いろんな人と交流できるから。



12月5日授業公開におけるカードの活用

単元末パフォーマンステスト

目的・場面・状況

10月に綾部に引っ越してきたばかりのホーバス先生には綾部に友だちがいません。職員室の先生も忙しそうで、会話のきっかけがつかめないのも、綾部のことや綾部中学校の先生について教えてほしいと依頼がありました。「この先生となら友だちになれそう」と思ってもらえる先生を選び、ホーバス先生の思いに応え、その先生と一緒にできることを提案してください。

条件1：教科書に出てきた表現やこれまでに学習した表現を使って、ホーバス先生の思いに応える内容になっている。

条件2：自分の選んだ先生について伝えたいことを分かりやすく伝えるために、伝える順番や質問を工夫している。

条件3：プレゼンに興味がわくような工夫があり、プレゼンの後に会話が深まっていくような内容になっている。



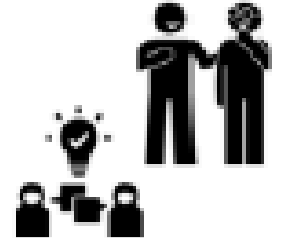

カード活用の具体

8 本時の目標

質疑応答で相手の情報を引き出しながら、友だちになれそうな綾部中学校の先生を1人選んで、紹介することができる。(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)



9 本時の展開 (7 / 9)

| 過程 (時間) | 主な学習活動 | 指導 形態 | 指導上の留意点 | 指導の留意点 評価:◎評価の観点(評価方法) ●評価改善例 |
|------------|--|----------|--|-------------------------------------|
| 導入 10分 | <p>○2分間チャット 2人ペアで、お互いのことを聞き合い、交代で質疑応答を行う。</p> <p>○レポート活動 聞いた内容を、別の友だちに伝える。</p> <div><div><p>見方</p><p>伝え方の工夫 ～伝えた友達もわかる～</p></div><div><p>考え方</p><p>表現・言語活用力 ～うまく伝えるには?～</p></div></div> | ペア | <ul style="list-style-type: none">・お互いの情報をできるだけたくさん聞き合い、マッピングの形式で記録に残し、次のレポート活動につなげる。・聞き手は相手に反応しながら、話し手がスムーズに話せるようにサポートをする。・聞き取った情報を、別の友だちに伝える際、興味深く聞いてもらえる報告にするにはどうしたらいいか考えるよう促す。 | |

友だちとの関係性の中で、より相手のことを理解できるような質問を行う。
レポート活動では内容を整理し、再構築して報告する。

カードを活用した授業づくり (導入)

Today's Goal : 相手が「この人なら友だちになれそう」と思う先生を選んで、紹介しよう。

展開
①
28分

- 参観されている先生(もしくは友だち)に、綾部中学校の先生を紹介する。
- 話した内容をシェアする。



ペア
一斉

- ・聞き手の趣味や好きなことなどを引き出せるような質問をするように意識させる。質疑応答を通して、おすすめの先生を1人選び、聞き手にとって必要な情報を取捨選択して伝えるように促す。

本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認

初対面の先生に自己紹介をし、質問をして紹介する先生を決める。共通点を引き出すことを意識し、友だちになれそうな先生を選んで紹介する。

カードを活用した授業づくり（展開①）



| | | | |
|---------------|--|----------|--|
| 展開 ② 7分 | ○ホーバス先生からのメッセージを再確認する。今日の活動を踏まえ、本番のテストに向けて、自分が伝えたいことを整理し、伝える内容をもう一度考える。 | 一斉 ペア | ・ホーバス先生の思いを確認し、自分が伝えようと思っている内容がホーバス先生の思いと一致しているか考え、工夫を加える。改善点が思い浮かばない生徒、表現が出てこない生徒については、仲間の工夫から学ぶように声をかける。 |
| | <div> <div>見方</div> <div>状況や場面</div> <div>～いつ、どこで伝えるのか～</div> </div> <div> <div>考え方</div> <div>論理性</div> <div>～理由や根拠の工夫～</div> </div> <div> <div>考え方</div> <div>再構築力</div> <div>～自分の伝えたい内容を、どう伝えるか～</div> </div> | | |
| まとめ 5分 | スピーキングテストに向けて、最後の作戦を立て、本時の振り返りをする。 | 全体 | ・自分自身が |



ホーバス先生から新しい情報をもらい、これまで想定していた先生紹介で大丈夫かどうか見通しを立てたり、伝える先生、内容を変えるなど、調整する時間をとる。

カードを活用した授業づくり（展開②、まとめ）

生徒の感想

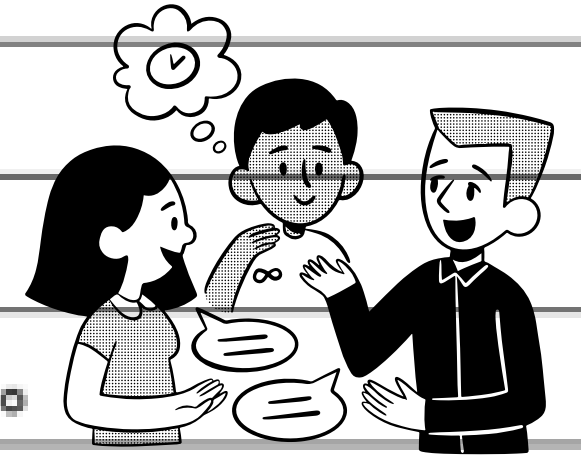
原稿にあったこと以外のことを考えて話せた。

その先生との趣味やつながりを見つけて喋れた。初めて出会った先生と仲良くなってしゃべることができた。

初対面の人でも話しかけられるようになった。

初対面の人に質問がたくさんできた。応答も2文以上で返せた。

深く質問できた。今日初めて出会ったあかね先生に、小西先生を紹介することができた。

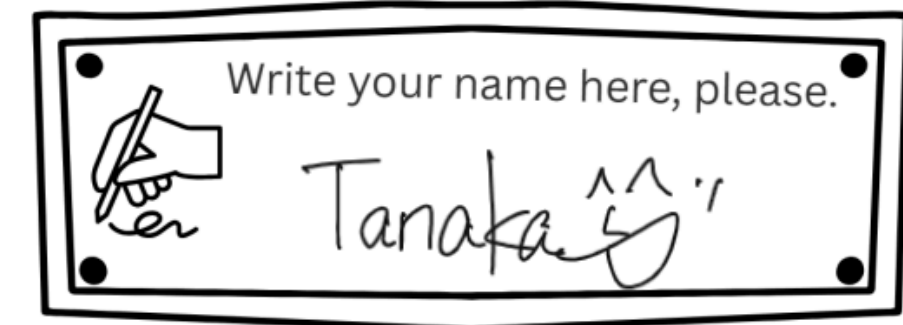
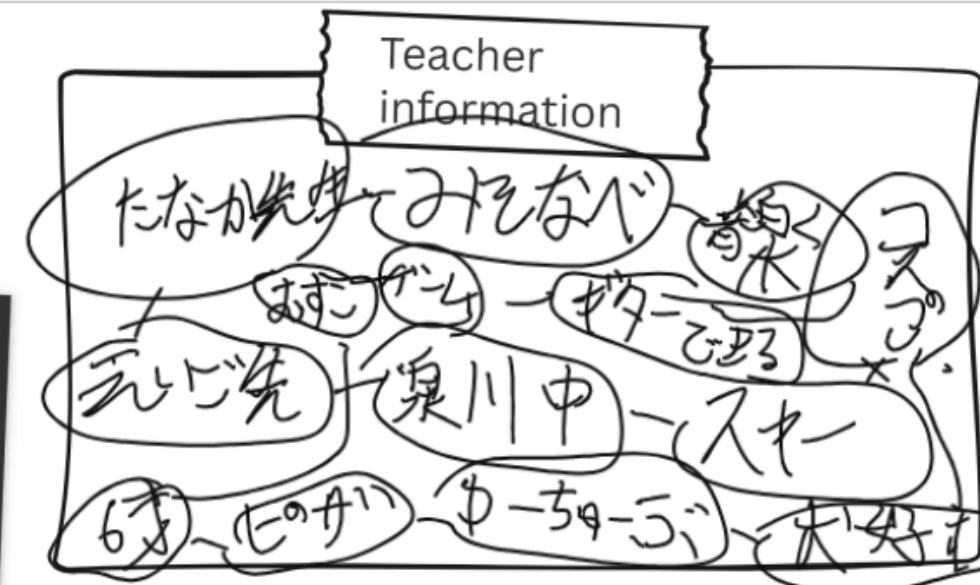
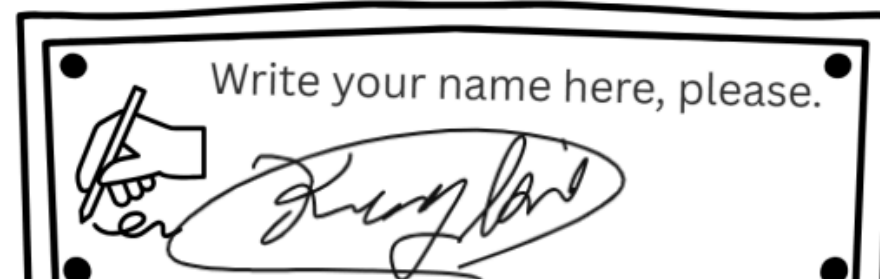
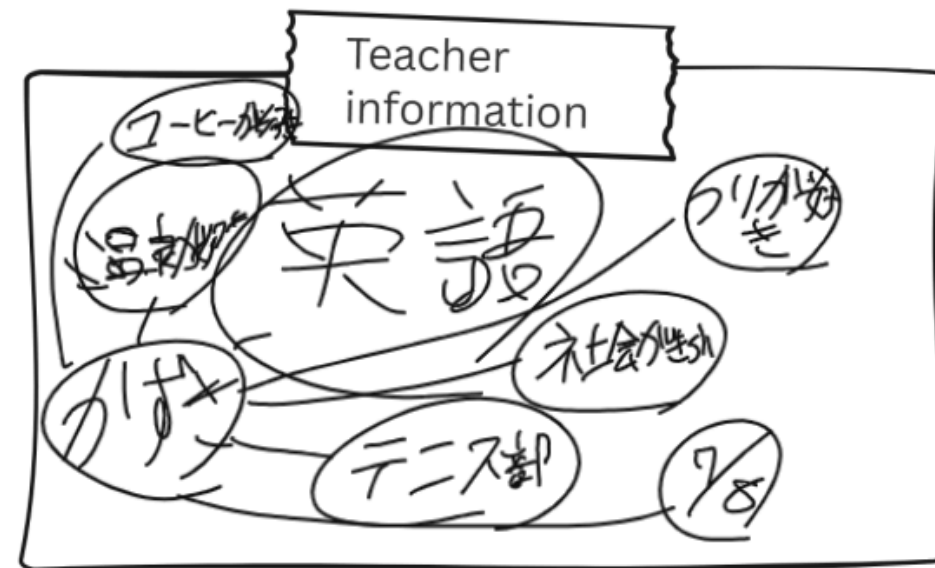
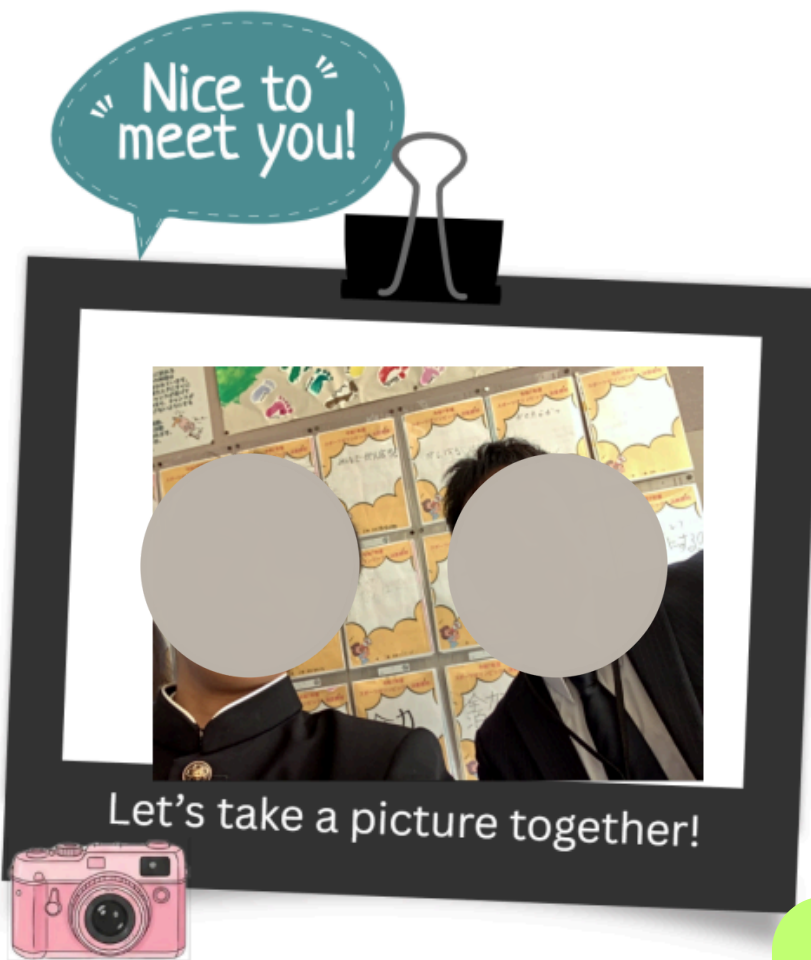


先生との共通点を探し、気に入ってもらえる紹介ができた。今日の授業で、初めて会った先生との関係が持てた。

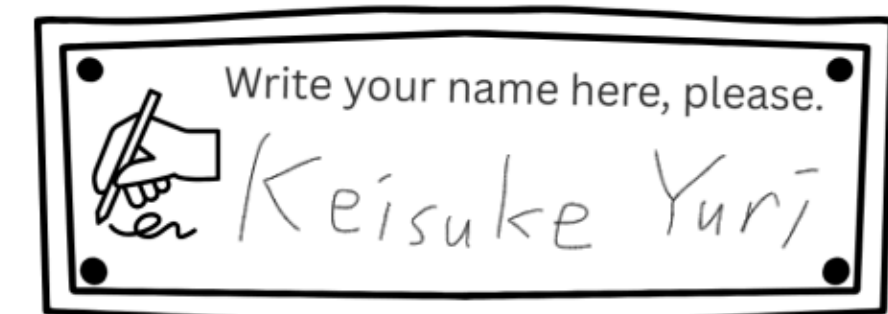
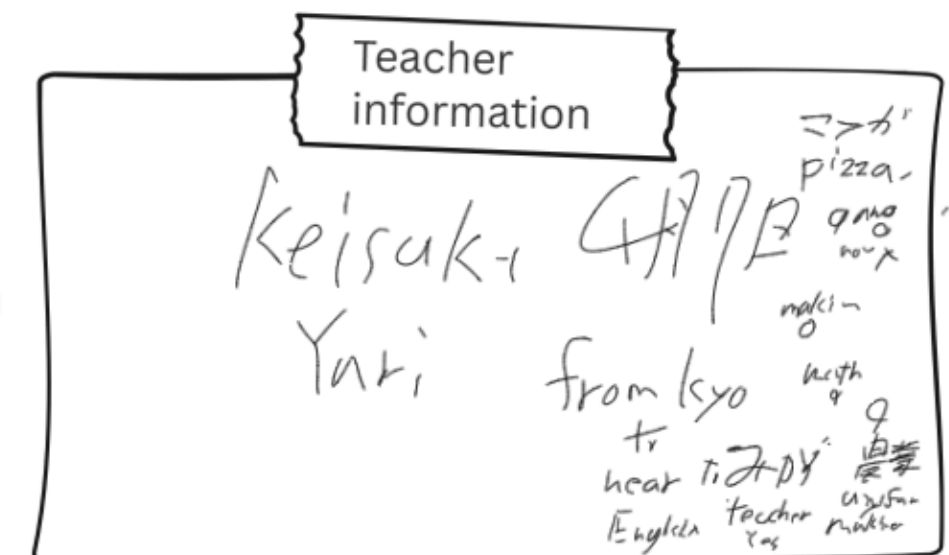
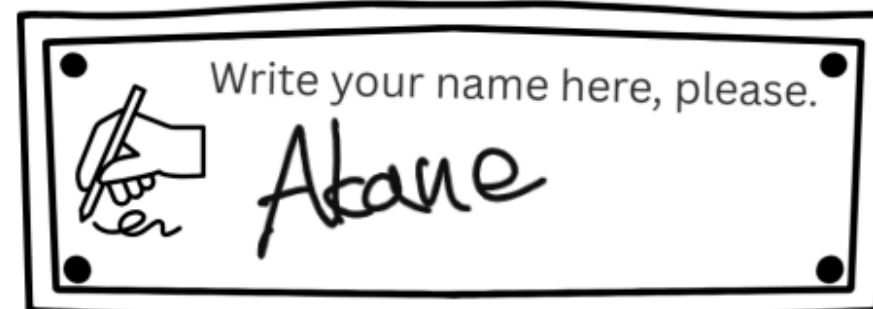
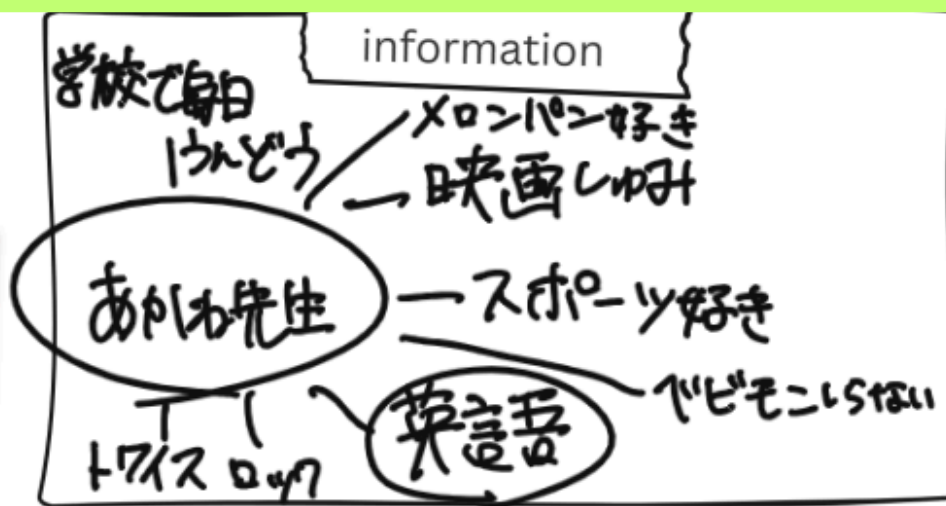
相手のことを知って、聞いたことから相手に合う先生を選んで紹介した。今まであまり詳しく話せなかったけど、今日は提案まで言えた。

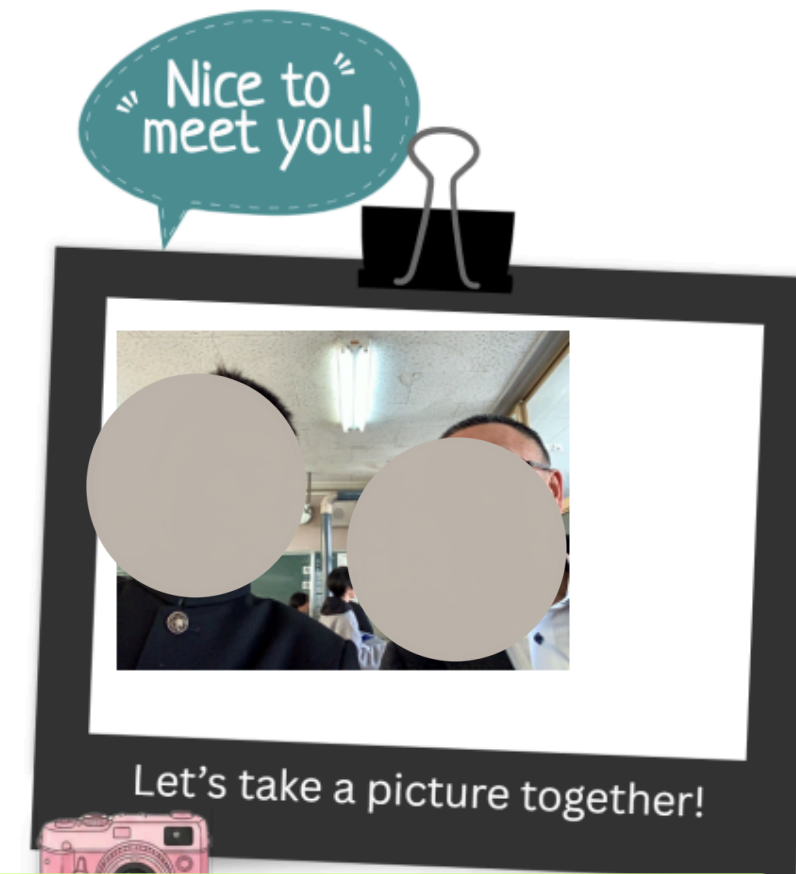
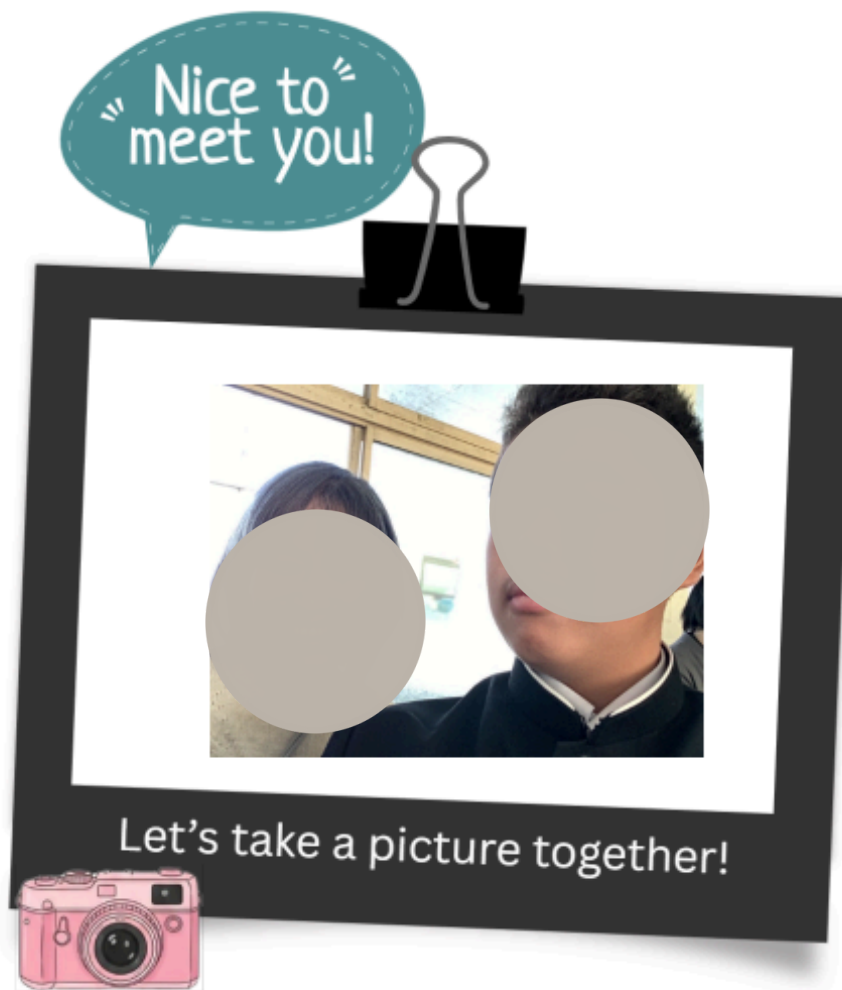
相手のことを深掘りするために質問できた。話が弾むようにいろいろなことを聞けた。時間いっぱい話せてフレンドリーにできてよかったもっとスムーズに話したい。相手にも楽しんでもらえるように工夫していきたい。

話した先生が好きなことが、紹介する先生とつながる理由を探せた。

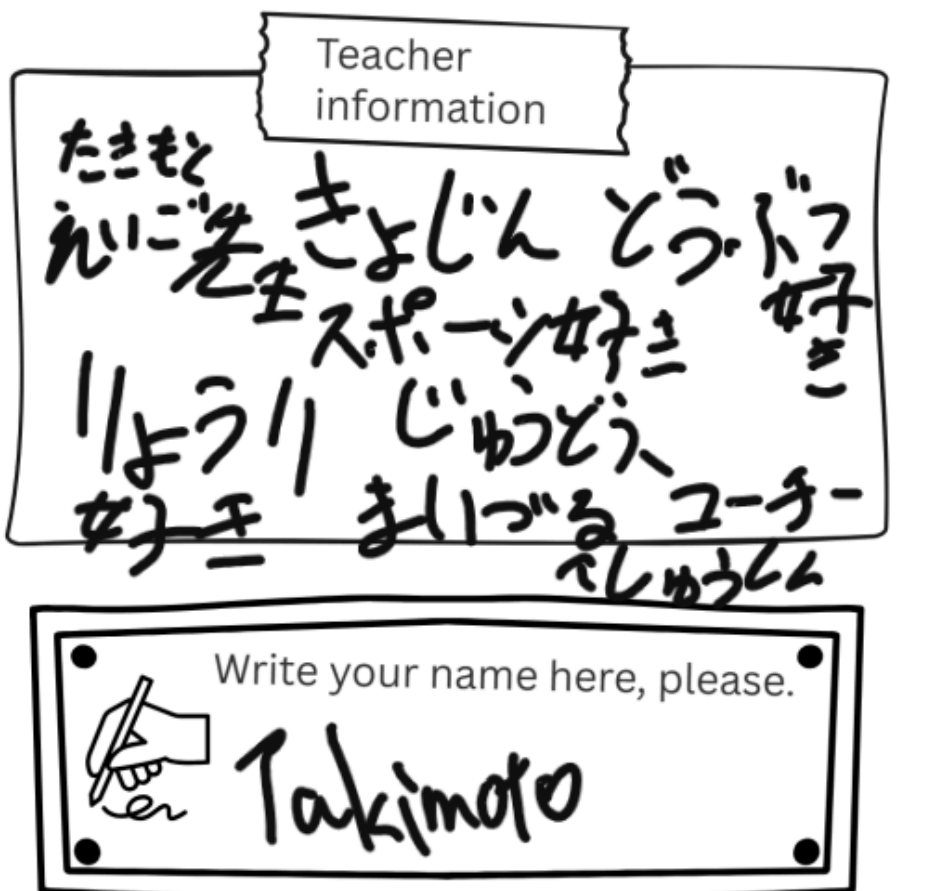
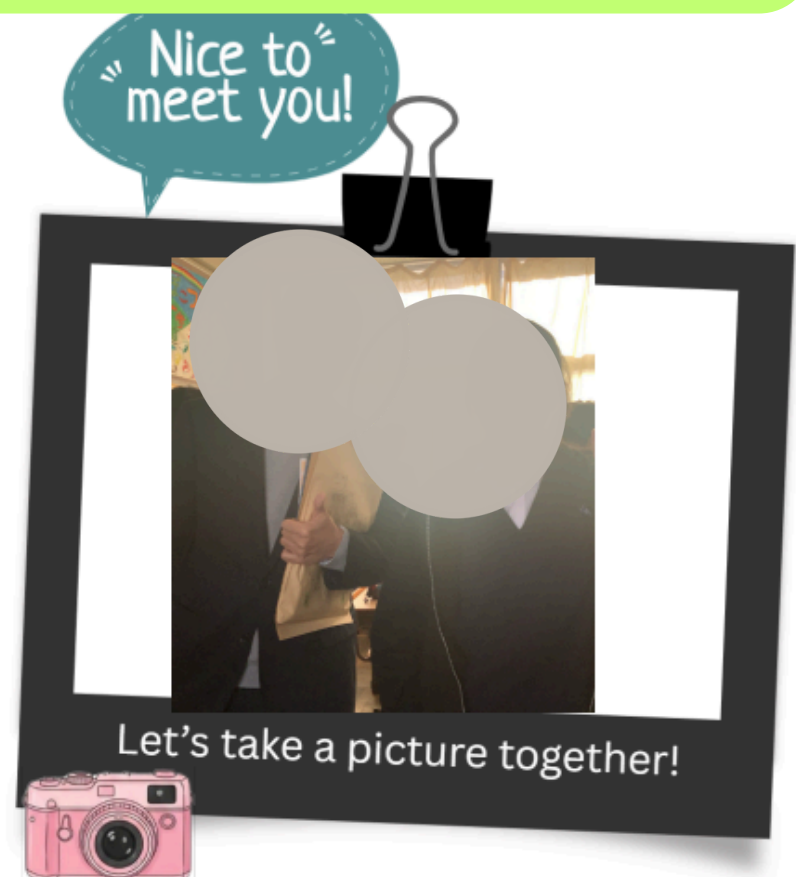
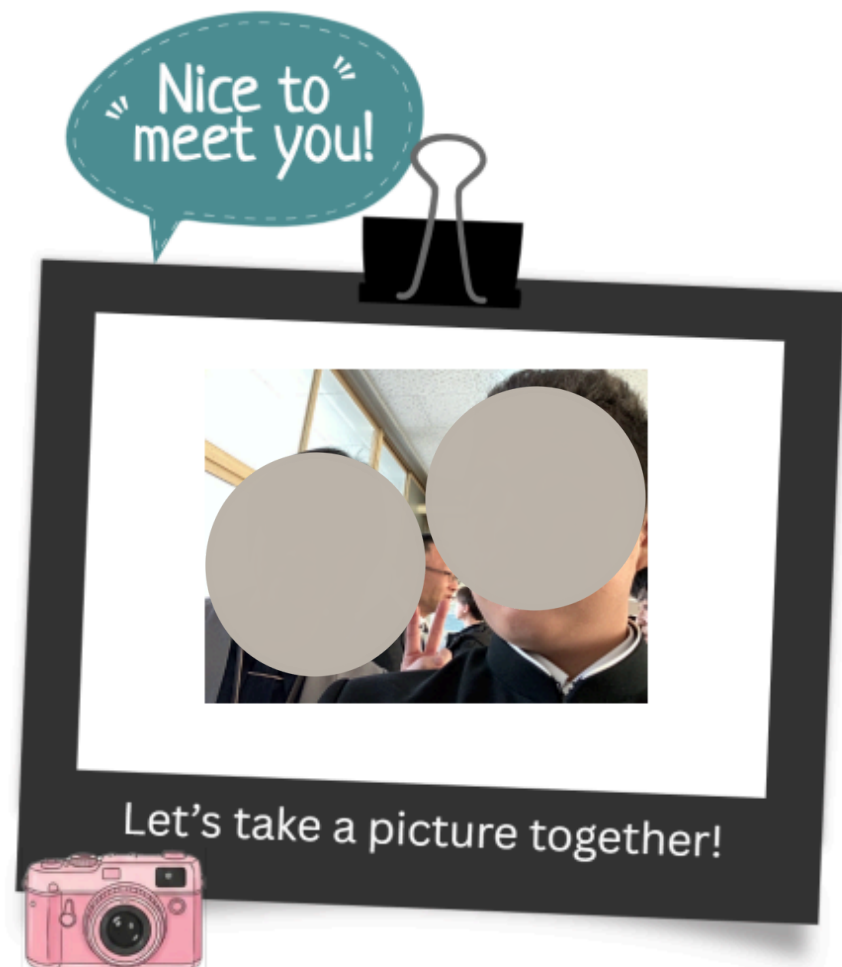


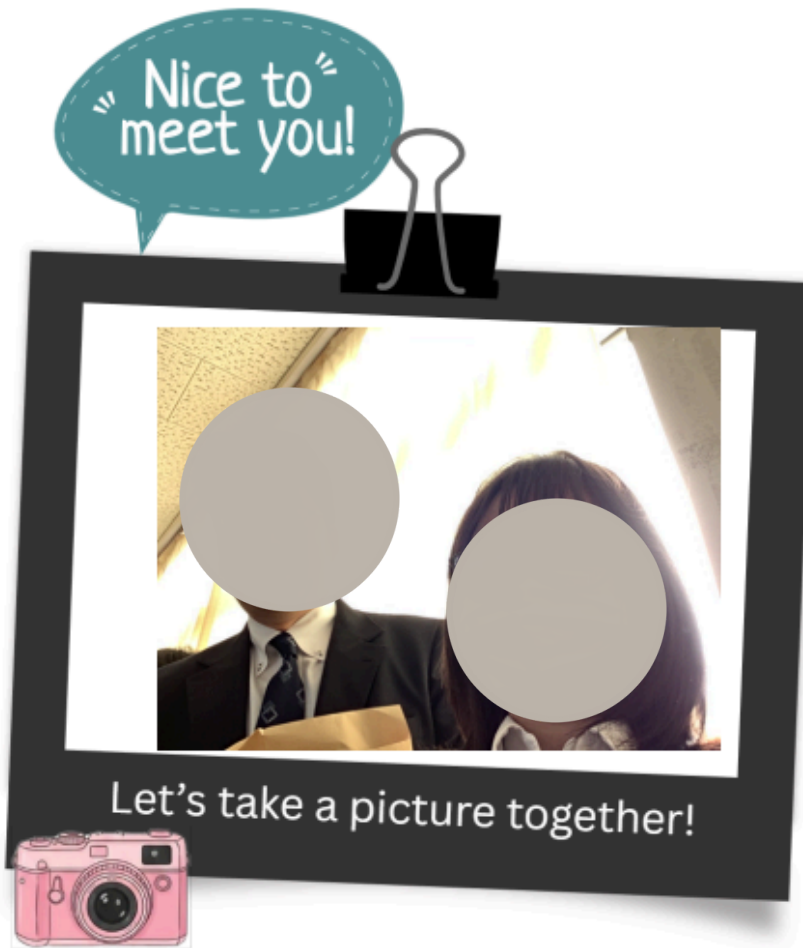
初対面の先生たちとのやり取り





初対面の先生たちとのやり取り





Teacher information

バシ-
スル-リ
けんじ
英語
カフェ

Write your name here, please.

Kenji ☺



Teacher information

犬山
コスプレ
英語先生
泉川中学校出身
小しだけゲーム好き
むす子がゲーム好き

Write your name here, please.

Tanaka ☺

初対面の先生たちとのやり取り



Teacher information

動物
かた
英語
チョコレート
スポーツ
ソフトボール
ピカ

Write your name here, please.

memoy



Teacher information

Ms. Ihou
from Hiroshima
like Okonomi
pizza.
anime → 料理屋
→ アニメ

Write your name here, please.

Yanzai ☺

この授業をするにあたって、取り組んだこと

2 学期前半：Q-AAA

前時に指定した質問に対して、3文以上で答える。（授業の初めに全員と）

2 学期後半：2 分間チャット

相手の関係性を縮めることを目的に、2分間質問、その後レポーティング活動

* 綾部中学校の先生マッピングの共有

子どもたちと関わる先生たちにアンケート

* ALTの先生との自己紹介

10月から勤務されている先生に自己紹介

* ALTの先生への質問

先生紹介を想定して、深掘りの質問をする

* ALTの先生からのメッセージ（手紙と動画）

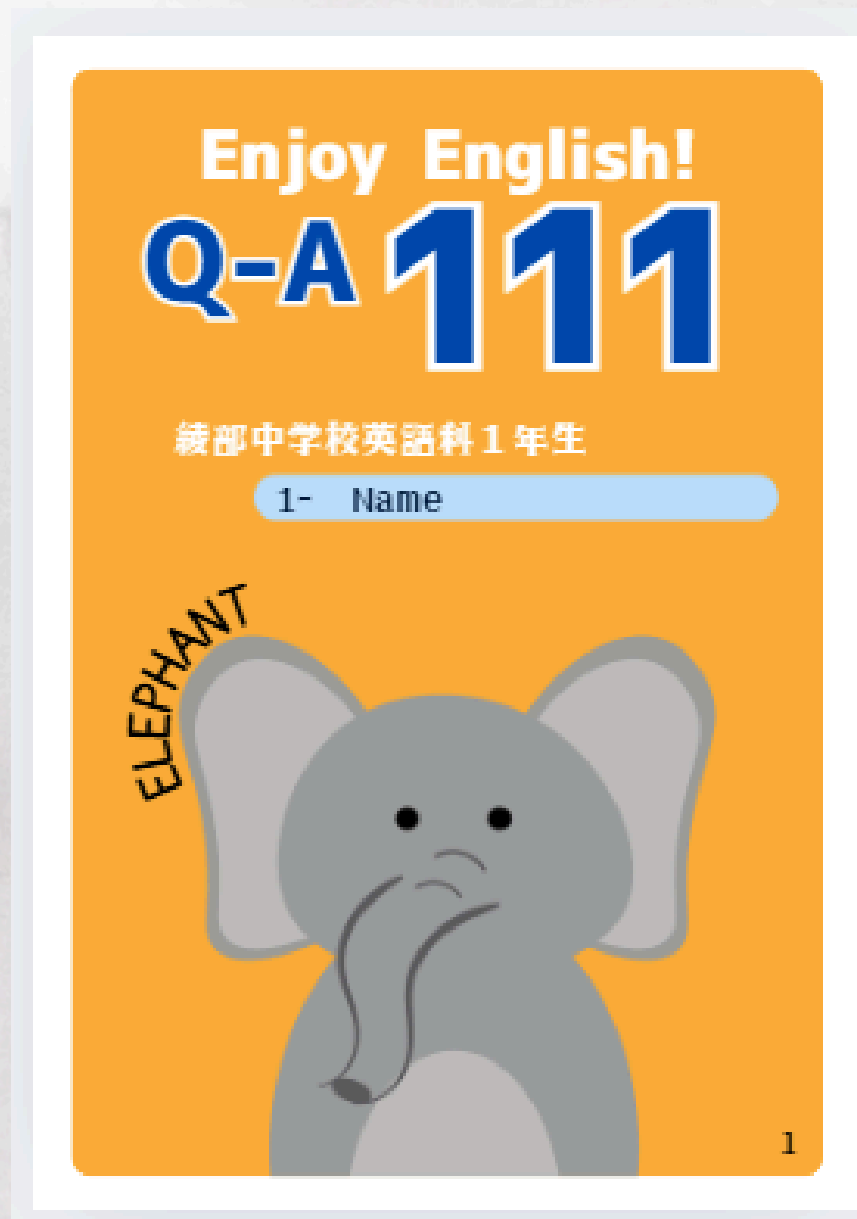
紹介する先生の選定に関わる情報の提示



この授業をするにあたって、取り組んだこと

2 学期前半：Q-AA

前時に指定した質問に対して、2 文以上で答える。（授業の初めに全員と）



帯活動①

2 学期前半はQ-Aを
毎時間全員に実施

(1) 質問を提示

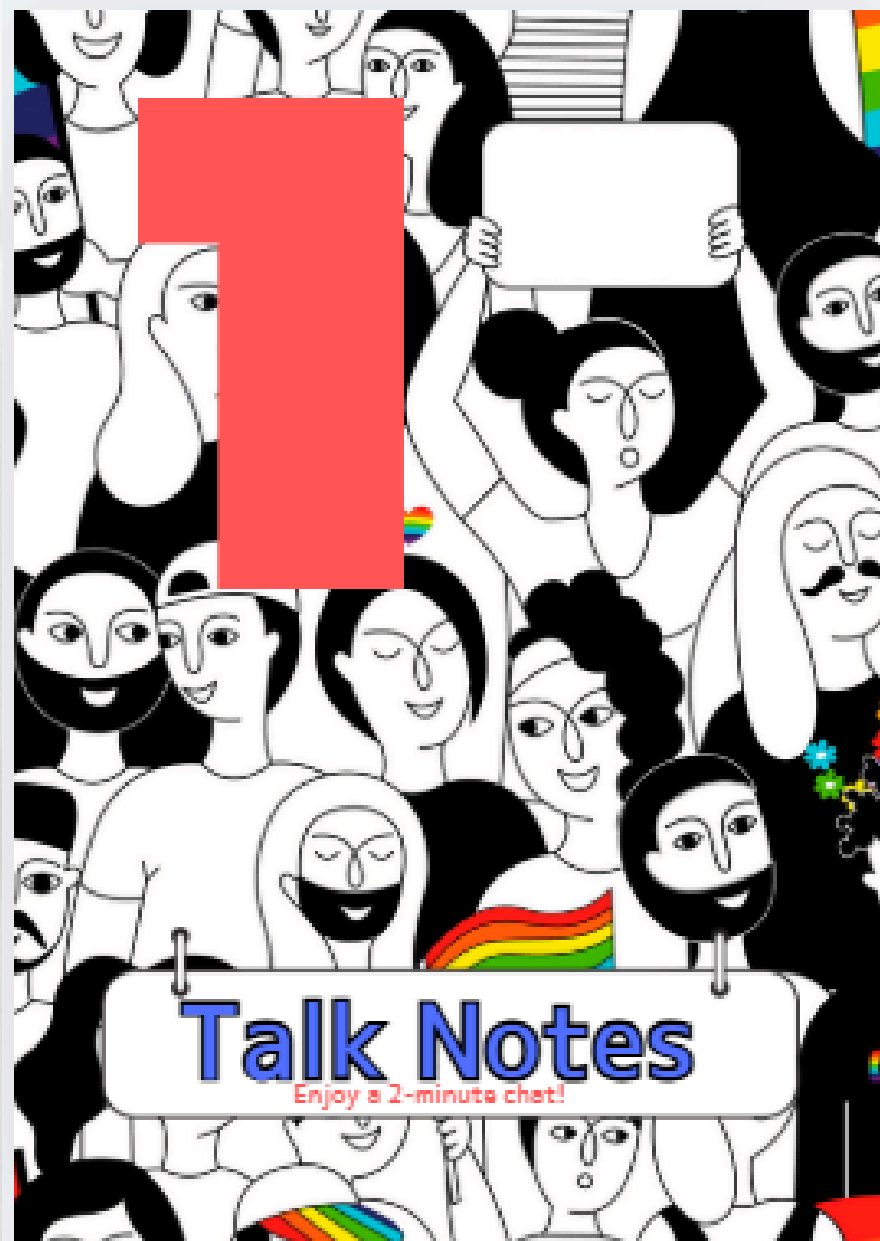
(2) 2 文以上で答える



この授業をするにあたって、取り組んだこと

2 学期後半：2 分間チャット

相手の関係性を縮めることを目的に、2 分間質問、その後レポーティング活動



第 2 活動

3 単元の導入後から

2 分間チャットの導入

(1) 2 分間Q-A

(2) ライティング
レポーティング



この授業をするにあたって、取り組んだこと

＊綾部中学校の先生マッピングの共有
子どもたちと関わる先生たちにアンケート



この授業をするにあたって、取り組んだこと

- * ALTの先生との自己紹介

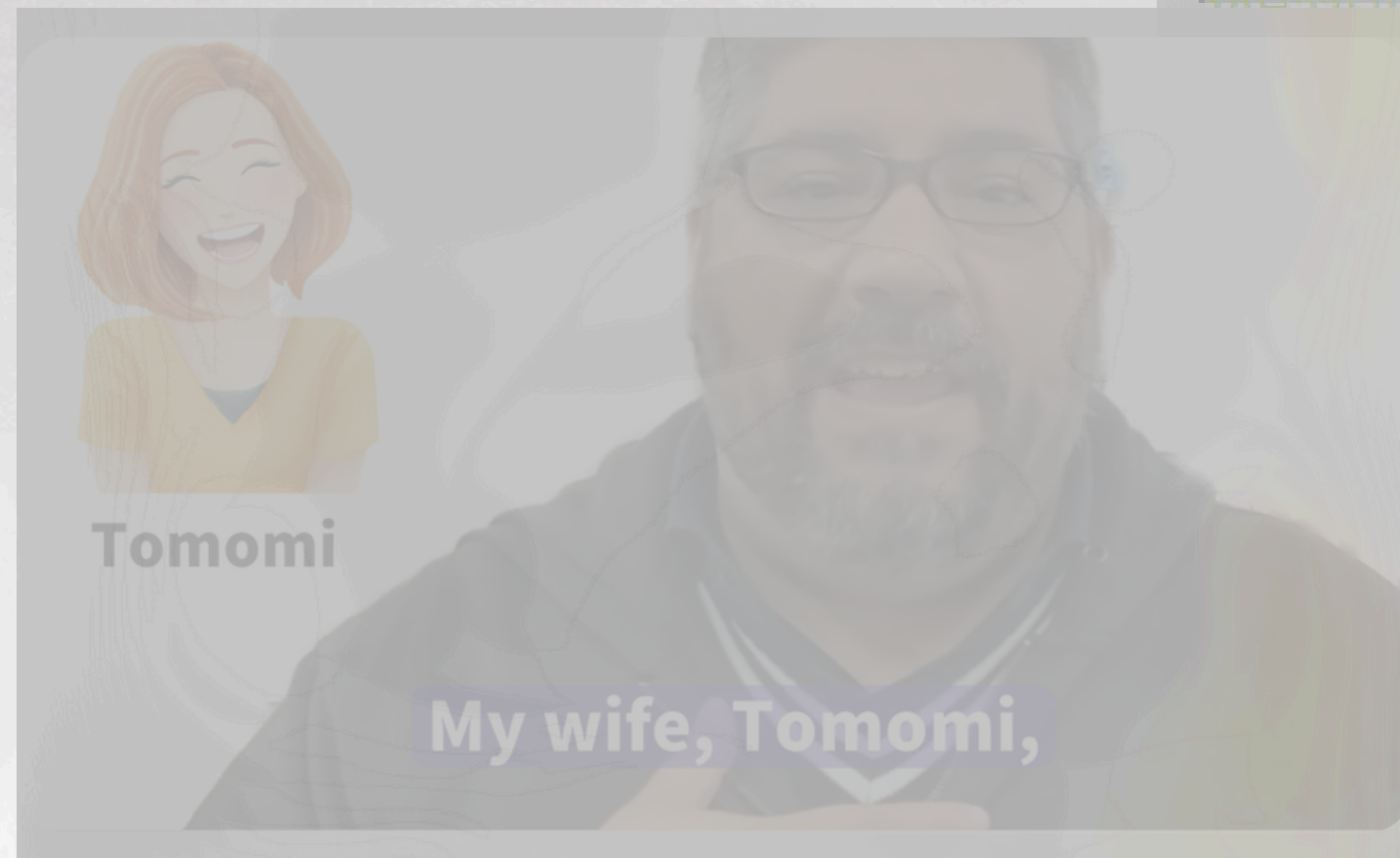
10月から勤務されている先生に自己紹介

- * ALTの先生への質問

先生紹介を想定して、深掘りの質問をする

- * ALTの先生からのメッセージ（手紙と動画）

紹介する先生の選定に関わる情報の提示



★Question

質問

相手の情報を引き出し、
アウトプットの見通しを立てる

①Opinion

意見

自分の考え（結論）をはっきり伝える。

②Reason

理由

そう思った理由を伝える。

③Example

具体例

説得力をより高める具体を伝える。

④Opinion

意見

もう一度、自分の意見をはっきり伝える。

OREOを
意識して
伝える



紹介する先生に
興味をもって
もらえるような
提案をする！

Suggestion

提案

自分の意見をさらに
サポートするための提案

参観された先生方の感想

高橋先生、素敵なお授業を見せていただきましてまことにありがとうございました。

子どもたちの姿から、普段からどのように取り組まれておられるのか非常によく伝わってきました。何より子どもたちが安心して高橋先生とともに英語を学ぼうとしている様子がよくわかります。

また帯活動として取り組んでペアチャットの際も、原稿やノートを見なくても、マッピングをもとにして自分のことばで話していること、それをさらに自分たちのことばでレポーティングして、何よりも間違いを恐れずにどんどん発話している姿に感動しました。クラスマネジメントや規律の面でも先生方皆で一つの方向を向いて取り組んでおられることが、教室の雰囲気から伝わってきました。

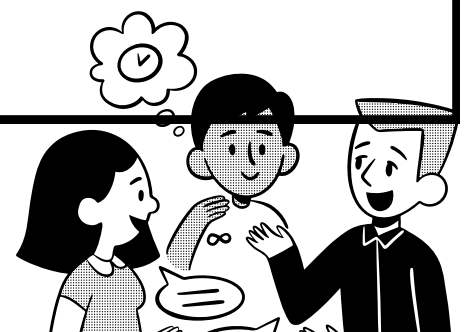
生徒たちが、学びを自分ごととしてとらえられるように、Teacher talk のところから高橋先生ご自身のこと、綾部中の先生のこと、綾部のことを全てを取り入れて、一方的にならずにインタラクションしながら、子どもたちが内容を自然に類推できるよう、良も質もともに豊富なインプットをしておられました。

また、生徒たちは、相手意識を持って、発話をするように意識して話していたこと、タブレットで作成したスライドも相手にわかりやすく伝わるようにそれぞれが工夫をしていたこと、見せ方も考えて、タブレットを効果的に使っていたことなど、日頃のご指導の賜物だと感じました。

同じく中学1年生を担当している身からして、高橋先生の授業から、あらためて自分自身の指導を見つめ直し、できていないことがあると感じ、刺激をいただきました。

最後は書いてまとめるという流れも、言語習得において、非常に理にかなった流れの中で授業を進めておられて、全てにおいて、たくさん学ばせていただくことばかりでした。

お互いに話をしやすいクラスのムードの中で、生徒たちがこれまで学習した表現をたくさん使おうとしている姿がとても印象に残りました。毎回の授業でしっかり力を付けておられること、繰り返し使わせる活動で、定着を図られているのがとても伝わってきたし、生徒たちの手助けとなる板書カードや先生の声かけなど、とても勉強になりました。今日は素敵な授業を見せていただき、本当にありがとうございました。



生徒たち一人一人がリスペクトされている授業だと強く感じました。お勉強は苦手そうな生徒でも自分のこと(自分の人生)とつながっていると感じる場面(ゲストとのインタビューなど)ですごい力を発揮していました。そして、それを引き出す高橋先生の生徒の発言への合いの手、リキャスト、促しのフィードバック力がすごく参考になりました。なかなか英語で発言できない中1段階からの「知識技能」におけるスキルの部分を帯活動でつなげていくことで、またすごくレベルアップしていけるのだろうと感じました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

スモールトークやマッピングを用いた、“生きて使える英語”の授業を見させていただいたように思います。事前に準備していた部分と即興的な部分があり、何より生徒たちは主体的に学びに向かっている様子が随所に見ることができたことが大変参考になりました。

高橋先生の授業へのパッションと生徒への愛をめちゃくちゃ感じました。規律の徹底も関係づくりも1日でできるものではないけど、丁寧に築いて来られて今があること、生徒の居場所も安心感もちゃんとあってひとりぼっちがない、授業が温かい、あっという間の授業でした。生徒も高橋も楽しそうで私も楽しかったです。

パフォーマンステストに繋がる授業では生徒2人と会話させてもらいました。何も見ず、私にたくさん質問してくれました。対話にも目的があってただの質問活動ではないこと、高橋先生が作られたQA冊子のトレーニングを積み重ねているから今日の会話にも結びついているんだろうし、色んな活動を展開されながらも授業で目指したいところ、ゴールが明確でブレずにつながっているから生徒にも力がついてるんだろうなあと強く感じました。ほんとにすごかったです。

今後に向けて

- ①カードのより効果的な活用
- ②子どもたちが自己選択・自己決定・自己調整する
場面の設定
- ③カードを使った振り返りの充実



英語科の見方・考え方



事前・事中・事後の振り返りで
カードを活用し、視点と行動を明確にし
コミュニケーションを広げたり、深めたり、整理したりできる。

生徒の行動を促す振り返りの工夫

スピーキングテストやライティングテストにおける活用

- ①伝える前の自己調整
- ②伝えている最中の自己調整
- ③伝えた後の自己調整

自分でどのカードを意識して
コミュニケーションをしたか
振り返る

→思考の足跡を残し、次のアウトプットにつなげていく

うまくいったところはどこ？うまくいかなかったのはどこ？
どんな視点が足りなかった？など



見方・考え方を働かせると

- ①言語活動や練習活動が充実する。
- ②子どもたちがこれまで以上に
コミュニケーションを楽しむようになる。
自分のこと、関わる人のことをより深く知ることが
でき、より良い自己理解につながり、
他者とより良い人間関係を築くことができる。



たどり着いた結論

英語を教えるのではなく、
英語で人と人がつながる喜びに
あふれる教室づくりをしていく。

